



FULLCAST
HLDGS.

株式会社フルキャストホールディングス(4848)

2022年12月期第3四半期決算説明資料

2022年11月11日

- FY2022 通期業績予想の修正
- FY2022 期末配当予想の修正
- FY2022 3Q連結業績(2022年1月～9月)
- FY2022 3Qセグメント業績(2022年1月～9月)
- FY2022 3Q業績予想進捗

FY2022 通期業績予想の修正

連結 FY2022 通期業績予想の修正

2022年12月期第3四半期連結累計期間における業績は、主力事業である短期業務支援事業において、顧客需要が伸長したことを主因とし、加えて、コロナ関連業務に係る官公庁案件等を獲得したことにより、想定を上回る人材需要を獲得できたことで、修正通期業績予想に対する各予想値の進捗率が75%を超過する実績となりました。

2022年11月11日開催の取締役会において、2022年12月期通期連結業績予想の修正を決議いたしました。

第4四半期会計期間においても、期末月に向けて顧客需要の伸長が継続していくと見込まれること、加えて、引き続き、コロナ関連業務に係る官公庁案件等に係る人材需要の獲得が見込まれることから、2022年12月期通期連結業績予想を上方修正いたしました。

2022年12月期中の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の再発出は想定しておりません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる結果となり得る可能性があります。

(百万円)

	FY2022 3Q 実績	前回発表予想 (A)	進捗率	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高	47,259	61,000	77.5%	62,500	1,500	2.5%
売上総利益	15,936	20,770	76.7%	21,110	340	1.6%
営業利益	7,467	9,200	81.2%	9,700	500	5.4%
経常利益	7,534	9,260	81.4%	9,710	450	4.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,090	6,173	82.5%	6,521	349	5.7%
1株当たり当期純利益 (円)	140.7	170.7	82.4%	180.3	9.6	5.6%

(参考)

ROE	—	28.9%	—	30.3%	—	1.4PT
-----	---	-------	---	-------	---	-------

連結 FY2022 通期業績予想の修正(セグメント別売上高)

引き続き、短期業務支援事業における各サービスの更なる伸長に注力する計画としております。

短期業務支援事業の各サービスの売上高予想値は、第4四半期会計期間においても、期末月に向けて顧客企業の需要が伸長すると見込まれること、加えて、引き続き、コロナ関連業務に係る官公庁案件等に係る人材需要の獲得が見込まれることから、それらの要素を加味した予想値としております。

(百万円)

		FY2022 3Q 実績	前回発表予想 (A)	進捗率	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率
短期業務支援事業	売上高	43,312	55,761	77.7%	57,397	1,636	2.9%
	紹介	4,445	6,025	73.8%	6,028	3	0.1%
	BPO	6,447	8,300	77.7%	8,590	290	3.5%
	派遣	25,622	32,934	77.8%	33,954	1,021	3.1%
	請負	6,798	8,503	79.9%	8,825	321	3.8%
営業支援事業	売上高	2,229	3,009	74.1%	2,827	△181	△6.0%
警備・その他事業	売上高	1,718	2,230	77.0%	2,276	45	2.0%

FY2022 期末配当予想の修正

FY2022 期末配当予想の修正

業績予想の修正に併せて期末配当予想を32円から35円に修正し、通期では前期比14円増配となる1株当たり58円といたしました。

期末配当予想の修正

	期末配当 前回修正予想 (2022年8月12日)	期末配当 今回修正予想 (2022年11月11日)	前期実績 (2021年12月期期末配当)
1株当たり配当金	32円	35円	23円

年間配当金修正予想

	中間配当 実績	期末配当 今回修正予想 (2022年11月11日)	年間配当金 修正予想
1株当たり配当金	23円	35円(前期実績;23円)	58円(前期実績;44円)

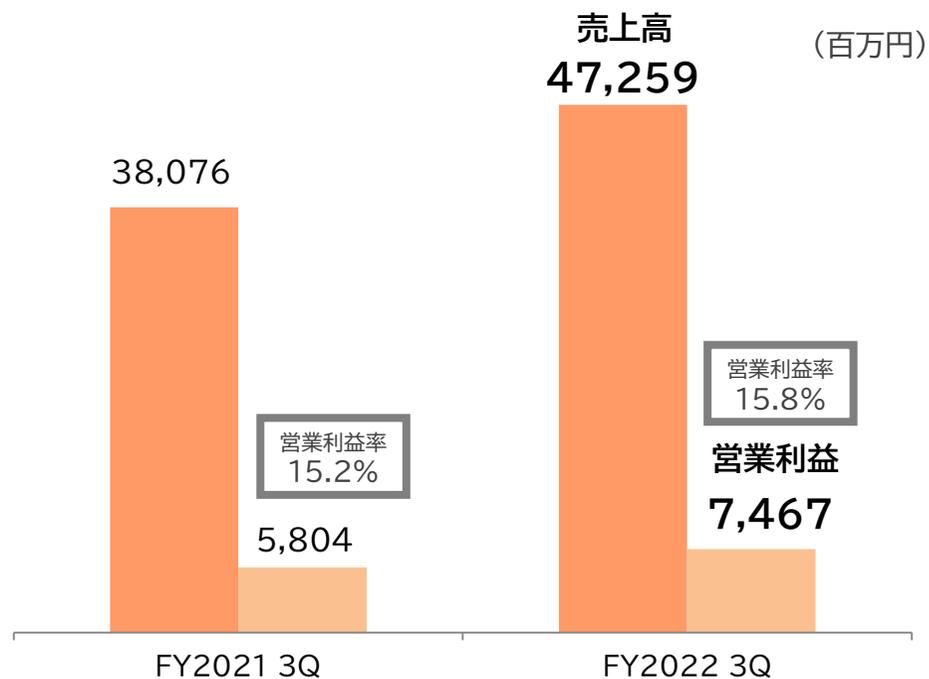
FY2022 3Q 連結業績(2022年1月~9月)

連結 FY2022 3Q前年同期比較

コロナ禍が継続する中でも、コロナ禍前の短期人材需要を超過する案件を獲得できたこと、加えて、コロナ関連業務に係る官公庁案件等を引き続き獲得できたことにより、短期業務支援事業が伸長したことを主因として、**売上高は前年同期比24.1%の増収**となりました。

顧客需要の伸長が続き、短期業務支援事業が増収したことを主因として、**営業利益は前年同期比28.7%の増益(営業利益率は0.6PTの改善)**となりました。

顧客需要の回復に合わせ、適切に費用をコントロールし、計上したことで、当第3四半期累計期間の販管費率を前年同期比で抑制しております。



売上高
+24.1%

営業利益
+28.7%

連結 FY2022 3Q前年同期比較

営業利益同様の要因により、**経常利益は前年同期比29.3%**となりました。

第1四半期会計期間において、保有する投資有価証券の売却に伴う投資有価証券売却益69百万円を特別利益に計上したこと等により、**親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比32.6%の増益**となりました。

(百万円)

	FY2021 3Q	FY2022 3Q	増減額	増減率
売上高	38,076	47,259	9,183	24.1%
売上総利益	13,327	15,936	2,609	19.6%
販管費	7,524	8,469	945	12.6%
営業利益	5,804	7,467	1,664	28.7%
営業利益率	15.2%	15.8%	—	0.6PT
経常利益	5,827	7,534	1,707	29.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,840	5,090	1,250	32.6%

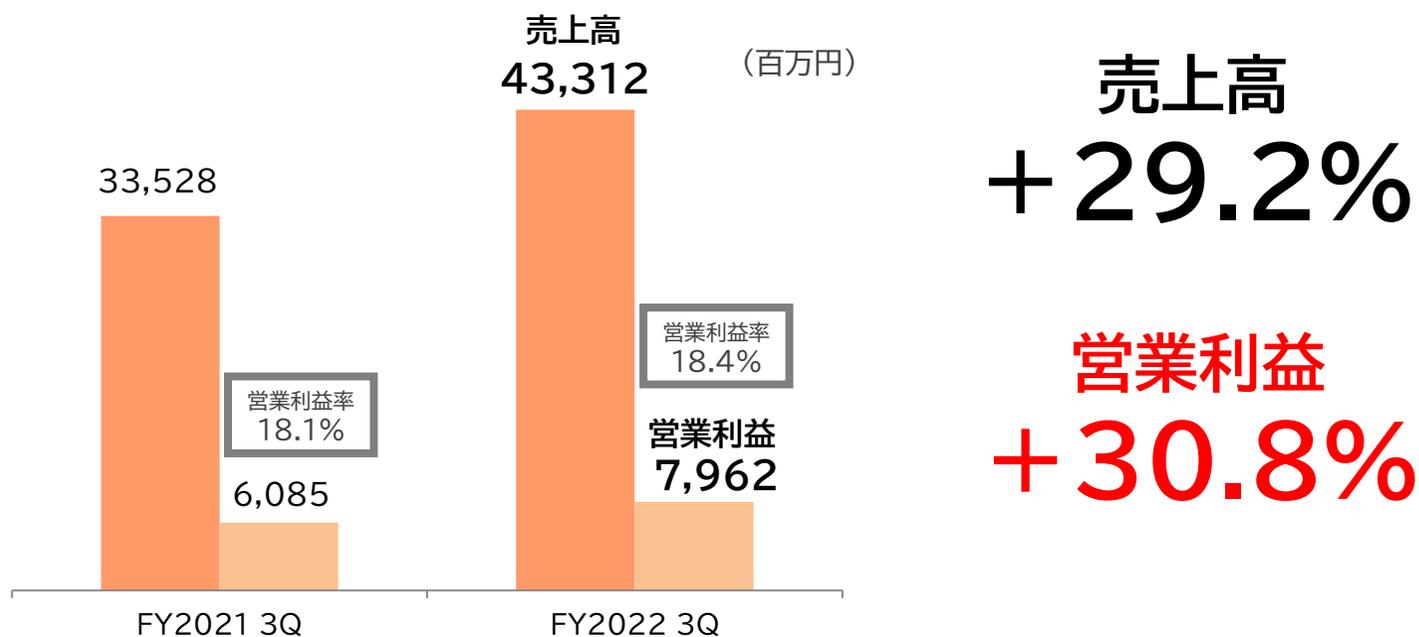
FY2022 3Q セグメント業績(2022年1月～9月)

短期 FY2022 3Q前年同期比較

コロナ禍が継続する中でも、コロナ禍前の短期人材需要を超過する案件を獲得できたことを主因とし、加えて、コロナ関連業務に係る官公庁案件等を引き続き獲得できたこと等により、**売上高は前年同期比29.2%の増収**となりました。

顧客需要の伸長が続き、増収したことを主因として、**営業利益は前年同期比30.8%の増益**(営業利益率は0.2PTの改善)となりました。

なお、当第3四半期累計期間における売上総利益は、コロナ関連業務に係る官公庁案件等の影響を除き、且つ、前期実施したBPOにおける売上原価計上方法の見直しの影響を考慮したオーガニックの実績は、コロナ禍前の2019年12月期第3四半期累計期間実績を、引き続き超過しております。



短期 FY2022 3Q前年同期比較(サービス区分別)

(百万円)

	FY2021 3Q	FY2022 3Q	増減額	増減率
売上高	33,528	43,312	9,784	29.2%
紹介	3,458	4,445	987	28.5%
BPO	5,214	6,447	1,234	23.7%
派遣	21,368	25,622	4,253	19.9%
請負	3,488	6,798	3,310	94.9%
売上総利益	11,770	14,826	3,056	26.0%
紹介	3,369	4,298	930	27.6%
BPO	3,536	4,177	641	18.1%
派遣	3,529	3,929	400	11.3%
請負	1,337	2,422	1,085	81.2%

顧客需要の回復に伴う短期人材需要を獲得できたことで、主力サービスである「紹介」及び「BPO」が増収、且つ、売上総利益増益となりました。

なお、第2四半期会計期間より取り込んだ(株)ハイフィールドの実績及び「紹介」内にも含まれているコロナ関連業務に係る官公庁案件等の影響を控除した、第3四半期会計期間におけるオーガニックの実績は、第1四半期及び第2四半期会計期間を上回っております。

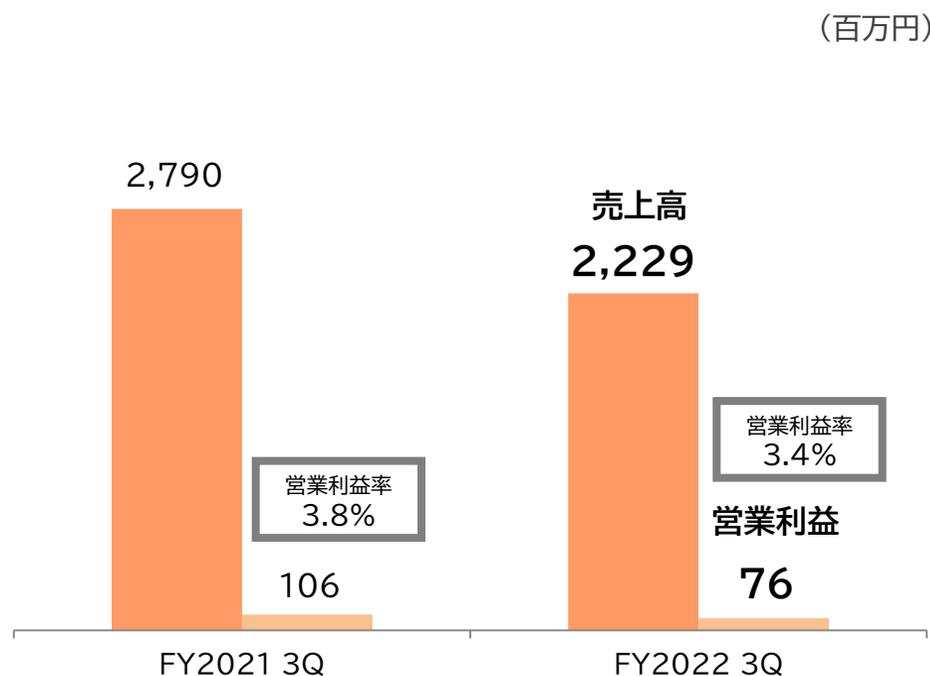
プロ野球の観客動員数が回復し、飲料品販売量が増加したこと及び物流請負案件が伸長したこと、加えて、コロナ関連業務に係る官公庁案件等を引き続き獲得したこと等により「請負」が増収、且つ、売上総利益増益となりました。

物流業・製造業を中心とした長期人材ニーズに応えたこと、加えて、「請負」同様にコロナ関連業務に係る官公庁案件等を獲得した一方で、コロナ関連業務に係る官公庁案件を獲得できた前期との対比では、「派遣」の売上総利益は前年同期比11.3%の増益に留まりました。

営業 FY2022 3Q前年同期比較

主たる事業内容であるインターネット回線販売事業における通信商材の販売動向が低位で推移したため、売上高は前年同期比20.1%の減収となりました。

減収を主因として、営業利益は前年同期比28.1%の減益(営業利益率は0.4PTの低下)となりました。



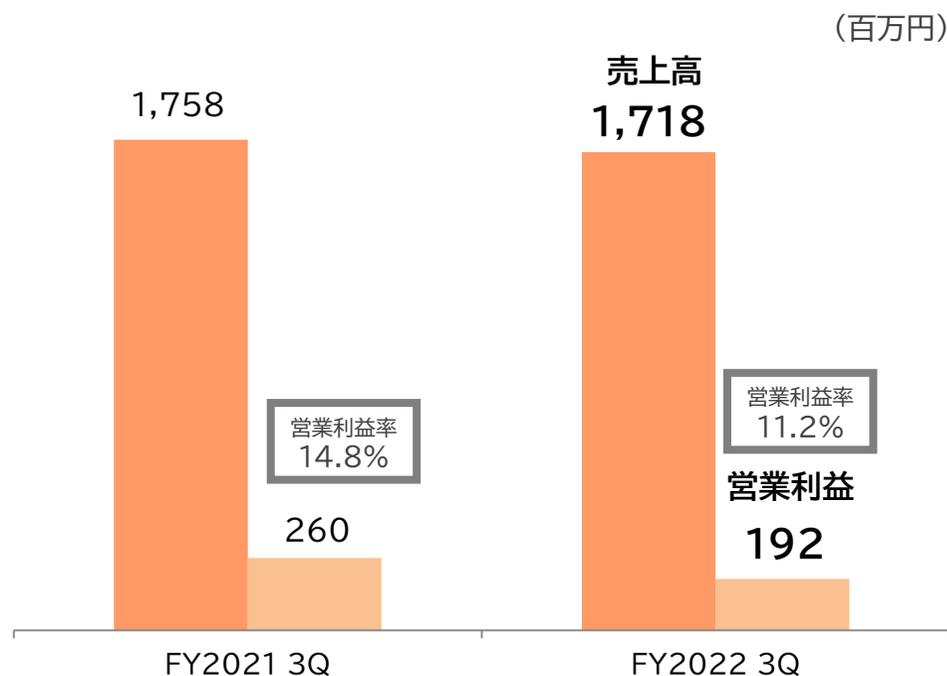
売上高
 $\Delta 20.1\%$

営業利益
 $\Delta 28.1\%$

警備・その他 FY2022 3Q前年同期比較

緊急事態宣言下でも、オリンピック需要を含めた臨時警備案件の獲得数を増加させた前年同期に対し、当第3四半期累計期間は、臨時警備案件及び常駐警備案件の新規獲得数が伸び悩んだことにより、**売上高は前年同期比2.3%の減収**となりました。

減収したことに伴い、**営業利益は前年同期比26.0%の減益**（営業利益率は3.6PTの低下）となりました。



売上高
 $\Delta 2.3\%$

営業利益
 $\Delta 26.0\%$

| FY2022 3Q業績予想進捗

連結 FY2022 3Q業績予想進捗

2022年12月期第3四半期連結累計期間実績は、本日公表した修正通期業績予想に対する進捗率が、営業利益77.0%、経常利益77.6%、親会社株主に帰属する四半期純利益78.0%と、各進捗率が75%を超過しております。

(百万円)

		FY2022 3Q 実績	FY2022通期予想 (修正業績予想)	進捗率
売上高		47,259	62,500	75.6%
売上総利益		15,936	21,110	75.5%
営業利益		7,467	9,700	77.0%
経常利益		7,534	9,710	77.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		5,090	6,521	78.0%
短期業務支援事業	売上高	43,312	57,397	75.5%
	紹介	4,445	6,028	73.7%
	BPO	6,447	8,590	75.1%
	派遣	25,622	33,954	75.5%
	請負	6,798	8,825	77.0%
営業支援事業	売上高	2,229	2,827	78.8%
警備・その他事業	売上高	1,718	2,276	75.5%

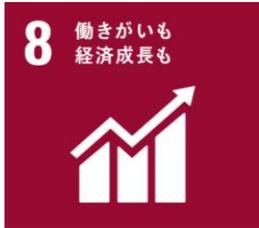
■資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元の目標を総還元性向50%としております。
- ROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上限1.0倍としております。

(参考)サステナビリティ方針

当社はSDGsの17の目標に対して賛同します。
また、当社の企業理念である、「すべての人をいちばん輝ける場所へ。」を実現していくことで、以下のSDGsの各目標に貢献することを当社の重要課題(マテリアリティ)ととらえております。



8. 働きがいも経済成長も

当社グループは、短期間のマッチング機会を就業希望者、雇用希望企業双方に提供し続けることにより、就業希望者における就業機会及び雇用希望企業における労働力を提供し続けます。
このことにより、就業希望者における働きがいと雇用希望企業における経済成長に貢献してまいります。



5. ジェンダー平等を実現しよう

年齢、性別、属性にとらわれない就業機会を就業希望者に提供することで、ジェンダー平等の実現に貢献してまいります。



10. 人や国の不平等をなくそう

国内全域の、かつ、国籍にとらわれない、就業機会を就業希望者に提供することで、人や国の不平等をなくすことに貢献してまいります。



9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

労働力人口が減少していく、国内の労働環境に対して、当社が、短期間のマッチングサービスを、成長ないしは革新を目指す企業に提供し、必要な労働力を充足させることにより、産業の成長と技術革新の基盤づくりに貢献してまいります。

(参考)グループ企業一覧

 (株)フルキャスト ホールディングス	グループ全体の資源・戦略の最適化ならびにグループ各社の事業運営の指導	 (株)BOD	データ入力及び受注管理受託・信販審査代行・請求代行及び処理受託・入金管理業務・受発注管理・計上及び経理処理受託を展開
 (株)フルキャスト ビジネスサポート	グループ内各種業務を集約して業務を代行	 (株)HRマネジメント	採用代行/研修支援/人事制度構築/リスクマネジメント、監査/会議運営代行
 (株)フルキャスト	さまざまな事業分野に対する短期人材サービス	 (株)プログレス	事務全般の代行業/アウトソース事業 生命保険、損害保険の事務業務代行業
 (株)トップスポット	地域密着型ブランド、特定地域に特化した短期人材サービス	 ミニメイド・サービス(株)	家事代行サービスを展開
 (株)フルキャストアドバンス	施工、営繕、イベントの企画・運営等の業務請負ならびに受付案内業務における人材サービス及び、常駐・雑踏警備および交通警備等の警備業	 (株)ハイフィールド	不動産業界特化型の人材紹介業
 (株)ワークアンドスマイル	さまざまな業界・業種で発生する人材ニーズに対し、首都圏を中心に“迅速”で“確実”なサービスを展開	 (株)エフプレイン	
 (株)フルキャスト シニアワークス	首都圏(一都三県)に特化した、アクティブシニアを対象とした人材サービス	 (株)エムズライン	コールセンターや代理店網を活用したIT通信商材の販売代理業務等
 (株)フルキャストポーター	ドライバーに専門特化した人材サービス	 (株)FSP	
 (株)おてつだいネットワークス	位置情報を活用した短期人材サービス「おてつだいネットワークス」の運営	 (株)ビート	業務請負を主とする人材総合アウトソーシングサービス
 (株)フルキャストグローバル	外国人を中心とした人材サービスを展開	 (株)デリ・アート	人材アウトソーシング事業
 (株)フルキャスト インターナショナル	即戦力となる特定技能ビザの外国人を紹介する人材紹介サービスを展開	 Advancer Global Limited	東南アジアを中心とした外国人労働者の人材サービス

免責事項

- Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましても万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

注記事項

<当資料について>

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」及び㈱ハイフィールドの不動産業界特化型の人材紹介サービスを「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに㈱BODグループのバックオフィス系BPOサービスを「BPO」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

<短期業務支援事業について>

- 2022年12月期第2四半期連結会計期間より、2022年5月31日付けで連結子会社とした㈱ハイフィールドの実績を含めております。同社の実績は「紹介」サービスに計上しております。
- 「BPO」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに㈱BODグループのバックオフィス系BPOサービスを合算しております。
- 短期業務支援事業セグメントにおけるサービス区分別の数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

<営業支援事業について>

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」、「アライアンス事業」及び「エンターテイメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

【お問い合わせ先】

IR課 : 03 - 4530 - 4830
URL : <https://www.fullcastholdings.co.jp/ir>
Email : IR@fullcast.co.jp